7月15日は日本共産党の誕生日。

日本共産党北区議会議員
さがら としこ
区政レポート
日本共産党議員団

2019.7.11.No.1659.

御相談はお気軽に
TEL FAX とも 3905-0970
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
（バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く）

世界経済フォーラム「グローバルジェンダーギャップレポート2018年版」

「女性活躍」と"ジェンダー平等"って

◎上のグラフは、どんな指標か、おわかりですか。これは、主な国の男性の所得に対する女性の所得の割合なんです。日本は5割。

8時間働けば、ふつうに暮らせる

◎女性が働きやすい職場は、男性も働きやすいはず。自由な時間や家族との時間をちゃんと持てる。人間らしい働き方ができる社会をつくりたいですね。最低賃金を1,000円から1,500円に引き上げ、非正規雇用から正規雇用をふやしたいですね。

賃金格差は年金の格差にも

「ばあば、みて。はっぱのにんじん」

「えっ、どこ？ ほんとうだねぇ」

もうすぐ4歳となる子の感性にびっくり。

希望の日本へ

憲法9条守る 減らない年金

訴える志位和夫委員長と参院東京選挙区の吉良よし子候補。花はガーベラ、花言葉は「希望」＝6月26日、東京・新宿駅西口

参院選 共産党頑張れ

投票21日

◎年金問題が大きな争点となる中で、"年金小集会"が話題です。男女賃金の差だけでなく、年金制度について日本の後進性が問われています。

◎選択的夫婦別姓についての安倍首相の姿勢も。

今号は部内用です。

許せない消費税10%

子どもの貧困に拍車

歌手 日野 美歌さん

特に子どもの貧困が深刻になっていることは、国のあり方として恥ずかしいことです。消費税10%への引き上げは、子どもの貧困の拡大にも拍車をかけることになるでしょう。消費税増税は絶対に反対です。

この団地内通路は、8月1日からすべて通行できなくなります。赤羽台地内

◎写真の左側は梅公園の緑。手前が、外周道路。この付近が、山田洋次監督の映画「学校」のロケ地となり、団地自治会の皆さんもエキストラとして出演されました。

8/1(木)から8/9(金)まで 都営住宅の募集

家族向けのポイント式
単身者向け、シルバーピア

問合せ ご相談 さがら事務所へ 3905-0970

憲法 9条破壊VS平和外交に生かす

米国の要求で改憲狙う首相

2019年7月7日付「しんぶん赤旗」より

安倍首相は参院選について「憲法を議論する政党か、しない政党かを選ぶ選挙」と訴えています。志位氏は、自民党の参院選公約が「早期の憲法改正を目指す」としていることを示し、強調しました。

志位　憲法を議論するか、しないかではない。安倍首相による9条改定を許すかどうか、ここに争点がある。安倍9条改憲のどこが問題か。自民党が取りまとめた憲法改正の条文案では、憲法9条2項（戦力不保持）のあとに〝前条の規定は、…自衛の措置をとることを妨げない〟として自衛隊の保持を明記している。〝前条の規定は…妨げない〟となれば2項の制約が自衛隊に及ばなくなる。2項が残っていても立ち枯れとなり死文化する。無制限の海外での武力の行使が可能になる。こうした方向には断固反対だ。

安倍首相は〝憲法審査会を開き、とにかく議論を〟と他の野党を巻き込もうと繰り返し迫ります。志位氏は厳しく反論しました。

志位　憲法審査会は、憲法一般の議論をする場所ではない。「憲法改正原案」をつくる場だ。どの世論調査も（憲法改正は国民の）5割以上が反対だ。自民党自身が運動方針で〝憲法改正のために改めて国民世論を呼び覚ます〟と言っている。（国民が）望んでいないことは自民党も認めている。（憲法審査会は）動かすべきじゃない。

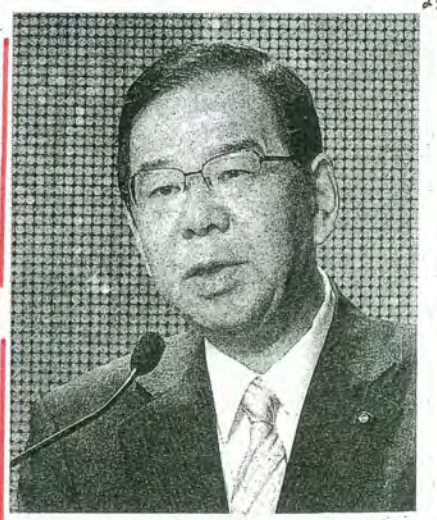
枝野、玉木両氏も安倍9条改憲に疑問を呈しました。

9条改憲の真の狙いは何か。ここに切り込んだのは志位氏です。

志位　（米国の）トランプ大統領が〝日本が攻撃されれば私たちは最大限の力で日本のためにたたかう。しかし米国が攻撃されても日本はたたかう必要がない。変えなければいけない〟と安倍首相に伝えたと述べた。安倍首相のかねてからの主張も同じだ。世界に展開する米軍が攻撃されたときに、日本の自衛隊も肩を並べてともにたたかえと。ここに憲法9条改定の真の狙いがあるということをトランプさんの発言は示している。

この指摘に安倍首相は「トランプ大統領の考えを述べられたんだろう」とはぐらかすだけ。志位氏は、（韓国と北朝鮮の軍事境界線がある）板門店での米朝首脳会談（6月30日）を歓迎すると表明したうえで、こう求めました。

志位　安倍政権がなすべきは、憲法を変えることではない。憲法の精神にたって、昨年来起こっている北東アジアの平和プロセスを促進するための平和外交こそ必要だ。



「ネット党首討論」で発言する志位和夫委員長

野党共闘　連携でごまかし暴く

安倍首相は「（野党は）候補者を一本化しているが、共産党は、自衛隊は憲法違反という立場だ」と野党共闘の分断を図ろうとしました。志位氏はこう切り返しました。

志位　私たちは自衛隊と憲法は両立しないという立場だ。ただ、この立場を野党共闘に持ち込むつもりはない。私たちは安保法制を廃止する。安倍政権のもとでの9条改憲は許さない。これで一致している。

集団的自衛権の行使を容認した安保法制の廃止は野党共闘の〝一丁目一番地〟。「自衛隊が合憲か違憲かを統一すべきだ」と繰り返す首相に立民・枝野氏も「（野党統一候補は）集団的自衛権は違憲であるとの点について一致している」と述べました。

首相のごまかしを連携して暴く一幕もありました。志位氏が全国一律の最低賃金制度の創設を求めた場面。志位氏は、安倍政権が中小企業の賃上げ支援予算を36億円から7億円へバッサリ減らした問題を追及しました。首相は「7億円は間違いだ」として、税制や補助金で数千億円規模の中小企業支援をしていると〝反論〟。議論を受けた枝野氏は「志位さんは中小企業の賃上げの予算が減ったという話を（していたのに、首相の答えは）中小企業全体の予算の話にすり替えている。いつもの安倍政権の手法だ」と厳しく批判しました。

安倍政権がなすべきことは、憲法の精神にたち、平和外交こそ。

◎この「さがらレポート」を用意している最中に、イラン沖のホルムズ海峡近くでの警備のため、米国トランプ大統領が「有志連合」を結成するとツイート。日本に要求の可能性も高まっているの記事。

2019.7.11.「さがらレポート」No.1659.